

すみだ五彩の芸術祭の進捗状況等について

すみだ五彩の芸術祭（以下「芸術祭」という。）の開催に向け、これまでの検討経過や実行委員会での審議内容、記者会見、プレイベントの実施状況、各種企画の検討状況及び数値目標の設定など、現時点での取組の進捗を報告する。

1 実行委員会の開催状況

芸術祭の実施に向け、関係団体や有識者等で構成する実行委員会を設置し、令和 7 年 3 月 18 日に第 1 回を開催して以降、これまでに計 5 回実施している。各回では、基本構想や各企画内容等について審議及び報告を行っている。開催状況は以下のとおりである。

	開催日	内容
第 1 回	令和 7 年 3 月 18 日	実行委員会の設立、会則の制定、役員の選出、基本構想（骨子）の報告等
第 2 回	5 月 26 日	墨田区総合的芸術祭 基本構想の策定
第 3 回	7 月 29 日	ロゴマークの決定、記者会見概要の決定、プレイベント等の企画内容の決定
第 4 回	9 月 29 日	運営に関わる人材の報告、会則の改正、自主企画内容等の決定
第 5 回	11 月 28 日	プレイベント実績の報告、自主企画の内容の決定

2 記者会見及びプレイベントの実施状況

(1) 記者会見の実施状況について

芸術祭の開催に向けた区民等への周知を目的として、10 月 2 日に両国の回向院において記者会見を実施した。web 記事を中心に、約 40 件の報道掲載があり、一定の広報効果が得られた。

(2) プレイベントの実施状況について

令和 8 年秋の芸術祭本祭開催へ向けた機運醸成を目的に、10 月 24 日と 25 日の 2 日間にわたりプレイベントを実施した。24 日は、隅田公園そよ風ひろばで音楽イベント「未来を生きるあなたへ」を開催し、約 1,000 人が来場した。25 日は、リバーサイドホールですみゆめ踊り行列「SUMIBON」を開催し、約 1,500 人が訪れるなど、多くの来場者で賑わった。また、併せて隅田公園で地域の「うわさ」を吹き出し型シールとして掲出する「すみだのうわさプロジェクト」を展開している。

3 芸術祭の企画内容の検討状況

芸術祭の企画については、実行委員会を中心に、多様な主体による創造活動を推進するため、自主・共催・公募・連携の 4 区分で構成している。現在、それぞれの企画内容の検討を進めている。

(1) 自主企画について

千葉大学墨田サテライトキャンパス、すみだ生涯学習センター、すみだトリフォニーホール、すみだパークシアター倉及び曳舟文化センターなどの区内各所での実施を検討している。現在、具体化している自主企画の内容は別紙のとおりである。

(2) 公募企画について

上記2(1)に記載の記者会見において、公募企画の実施を発表した。令和8年1月から申請受付を開始し、外部の専門家による選考を経て、本年度末を目途に採択事業を決定する予定である。

(3) 共催企画及び連携企画について

基本構想で定めた企画の方向性を踏まえ、実施に向けた具体的な調整を関係団体等と個別に進めており、各企画の内容を順次具体化していく予定である。

4 運営方法等

(1) 地域連携について

芸術祭の運営にあたっては、地域と連携しながら多様な主体が参画できる仕組みづくりを進めている。芸術祭は、単に作品を展示・上演する場にとどまらず、地域とともに作りあげていくことを目指しているため、会期中はもとより、会期外にも関連イベントを展開し、地域とのつながりを広げている。具体的には、地域と芸術祭をつなぐ存在として「地域コーディネーター」を任命し、「五彩睦(ごさいむつみ)」というグループの協力により、トークイベント「五彩往来・逢い語らい」などの催事を通じて、誰もが参加しやすい環境づくりを進めている。

(2) 収入確保について

企業協賛目標額

1,000万円以上の協賛金収入を目標とする。大企業から中小企業まで幅広く参画できるよう、金額区分に応じた複数の協賛プランを設定する予定である。協賛企業には、公式ウェブサイト、ポスター及びガイドマップなどの各種広告媒体に社名やロゴを掲載することで、効果的な周知機会を提供し、地域と企業が一体となって芸術祭を盛り上げていく仕組みとしていく。

その他事業収入

音楽、舞台等の企画を有償化することなどによる、事業収入確保について検討を進めていく。

5 芸術祭の事業効果・評価方法等

芸術祭を実施する目的としては、芸術祭本祭を通して、地域での文化芸術活動の振興を図るとともに、「すみだ」に対する誇り・愛着を育み、人と人、地域でのつながりを強くし、地域力の向上を図ることとしている。

また、文化芸術活動を通じた地域の活性化及び経済効果の波及を図るとともに、取組の成果を適正に検証し、今後の事業運営の改善に生かしていく。以下は、現時点での想定値であり、今後の企画検討状況等を踏まえ、必要に応じて見直していく。

(1) 想定参加者数について 約40万人

区の人口規模や観光入込客数などの基礎データを踏まえるとともに、他の都市型芸術祭の実績を参考に、複数のシナリオで分析を行い、約40万人と推計した。

(2) 経済波及効果について 約21億円

参加者の消費行動による区内経済への波及を想定し、約21億円程度の効果を見込んでいる。最終的には、参加者1人あたりの消費額をアンケート等により把握し、推計する予定である。

(3) 効果検証について

アンケート等の実施

区民を対象としたアンケートを実施するほか、芸術祭自体の事業評価を行うため、来場者アンケート、Xトレンド解析、関係者・参加者向けアンケート、ヒアリング等を実施して効果検証を行う。また、地域力向上に関する評価としては、成果指標を「地域力育成・支援計画」などの指標を参考に設定する。目標としては、事前指標等において、事後の関連数値が上回ることを求めている。

外部評価の導入

上記に記載の芸術祭の効果検証や運営体制等について、識見を有する外部評価委員による評価の実施を検討している。第三者の視点を取り入れることで、事業評価の客観性を高めるとともに、今後の区が実施する文化芸術活動の改善や発展につなげていくことを目的としている。

6 今後のスケジュール（予定）

令和8年2月 プレイベントの開催

3月 実施計画の策定、公募企画の採択事業の確定、プレイベントの開催

9月 すみだ五彩の芸術祭の開催（9月4日から12月20日まで）